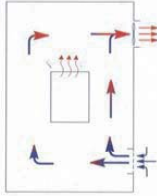


# 熱機器の基礎知識

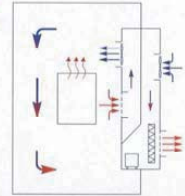
## ファン：(簡易防塵)

換気扇と同じ仕組みで、ファンがラック内部の熱い空気を強制的に排出。常温の外気を除塵フィルターを通して吸気することでラック内の温度を外気とほぼ同じ温度にすることができます。



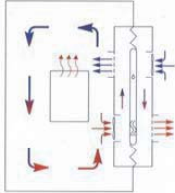
## クーラー：(完全防塵)

周囲温度が35℃以上になる場合や、搭載機器の発熱量が大きい場合に、ラック内部を強制的に冷却するタイプ。内外気を完全に遮断しているため、本格的な防塵となります。25℃~45℃で温度設定が可能です。



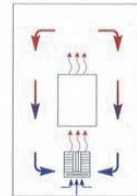
## 熱交換器：(完全防塵)

内部と外部の空気を入れ替えることなく、ラック内部の熱だけを外へ排熱。本格的な防塵を必要とされる粉塵が多い現場向きです。外気温が高い現場、搭載機器の発熱量が大きい時はクーラータイプを選定下さい。

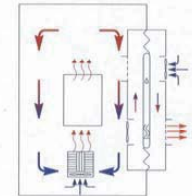


## ヒーター

発熱部とファンで構成されており、効率よく温風で筐体内部を保温するユニット。温度調節により、設定温度以下にならないようON-OFF運転をします。



—ヒーター単独運転—



—ヒーターと他熱機器連動運転—

※内部温度による切替運転方式

## 現場環境温度に適した熱機器選定の目安

### 熱機器選定の目安



### 許容発熱量一覧

	単位W/h	
	50Hz	60Hz
F	248~576	292~664
H	258~480	288~511
C	604~1,170	625~1,384

※上記の許容値は、当社標準品の許容発熱量をまとめたものです。

※《外気温度条件》

F: 周囲温度30℃の場合の計算値

H: 周囲温度28℃の場合の計算値

C: 周囲温度40℃の場合の計算値

## ファンタイプが簡易防塵と言われる所以

